

大熊町の復興状況について

令和8年9月
福島県大熊町

大川原地区復興拠点 ～最初の復興拠点～

町内では避難指示解除が早かった大川原地区に、役場、交流ゾーン、公営住宅、医療福祉施設、教育施設を集約して整備しました。



町の現状 ～大川原地区～



町立学び舎ゆめの森(大川原地区)

認定こども園と義務教育学校が一体となった教育施設

- 2022年4月 会津若松市(避難先)で、義務教育学校「学び舎ゆめの森」を開校
- 2023年4月、ゆめの森が町内大川原地区に移転。こども園も開園。8月、新校舎での教育開始
- 児童生徒・園児数(令和8年7月現在) 計134人
認定こども園 40名
義務教育学校 前期68名、後期26名



ネクサスファームおおくま(大川原地区)

太陽光利用型植物工場として、夏秋イチゴと春イチゴを周年栽培。町の新たな特産品に。

- 2019年4月、避難指示解除と同時期に栽培開始
- 施設面積 4・8ha
- 土壌を使わない「ポットスライド型高設溶液栽培」。環境制御システムによりハウス内の環境をセンサーで管理。

下野上地区復興拠点 ～第2の復興拠点～

2022年に避難指示解除された特定復興再生拠点の整備を進めています。

①大野駅西交流エリア(約6.0ha) 2025年3月～

- ◆ 産業交流施設「CREVAおおくま」や商業施設「クマSUNテラス」を整備。来訪者、働く人を増やし、新たな価値が生まれる機能を備えるエリア。

②大野駅東住宅エリア(約1.7ha) 整備中

- ◆ 帰還町民、移住者のほか町内の新規就労者等を念頭に、民間集合住宅の誘導を検討するエリア。

③大野南住宅エリア(約2.0ha) 2024年4月～

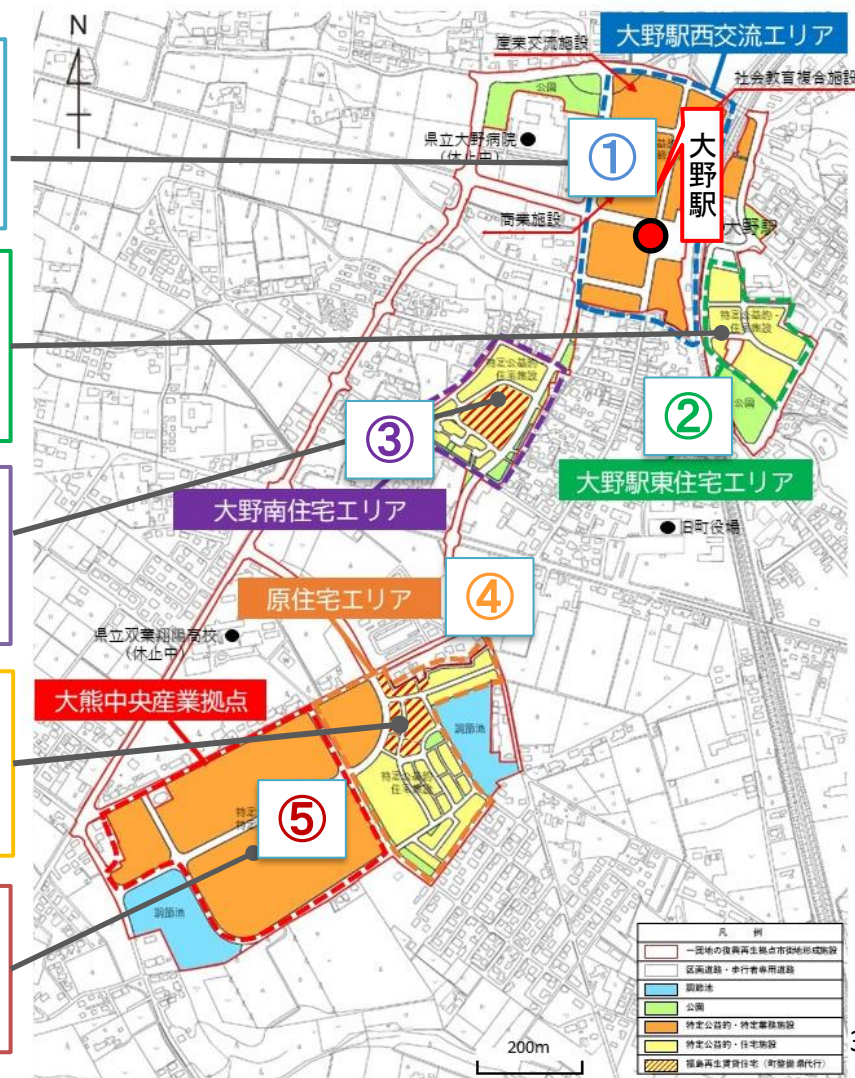
- ◆ 低層集合型再生賃貸住宅30戸と宅地を整備。住宅用宅地17区画の分譲を開始。

④原／旭台住宅エリア(約4.2ha) 2024年4月～

- ◆ 戸建住宅型再生賃貸住宅20戸と宅地の整備を計画。住宅用宅地33区画と19区画(計52区画)の分譲を開始。

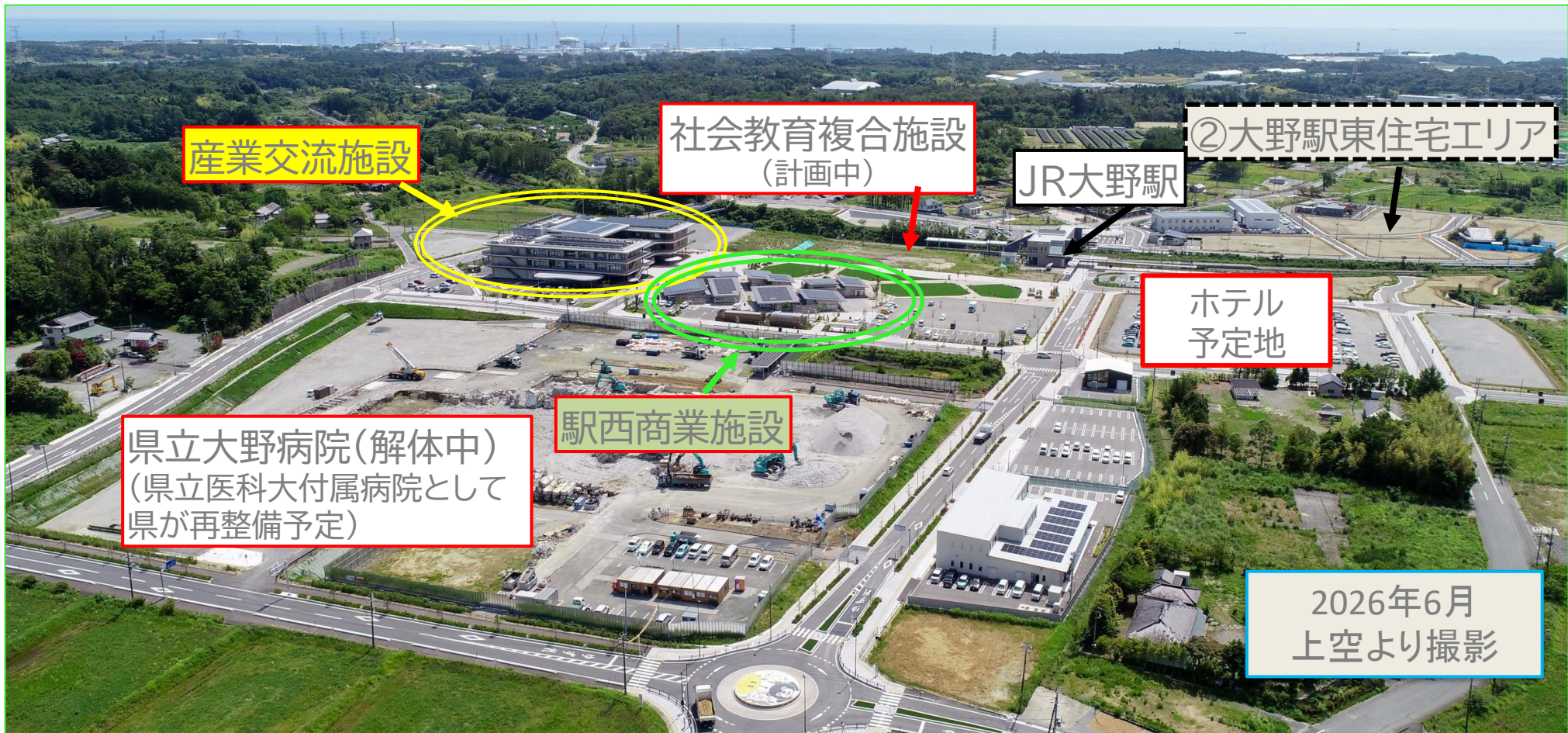
⑤大熊中央産業拠点(約9.3ha) 2024年1月～

- ◆ 新産業や研究施設、町内事業者等の企業誘致を行い大熊町が持続的に発展できる生業を生み出すエリア。



下野上地区復興拠点 大野駅西交流エリア

JR大野駅西口に交流施設等を整備し、町の玄関口として賑わいを創出しています。駅の東口は住宅エリアとしての整備を計画しています。



町の現状 ～下野上地区①～



大熊インキュベーションセンター(下野上地区)

旧町立大野小学校の校舎をリノベーションし、起業家などを育てる「インキュベーション施設」として活用。起業等に向けての伴走支援も実施する。

- 2022年7月開所。入居企業157社(26年5月末現在)
- 貸事務所9室、シェアオフィス、コワーキングスペース、交流ホール、会議室など。



CREVAおおくま(大野駅西交流エリア)

震災前の町の中心部だった大野駅西交流エリアに新たに整備した産業交流施設。

- 2024年12月開所
- 貸事務所全33区画に30区画入居(26年7月現在)。会議室、コワーキングスペースなど
- 大野駅西交流エリアには、商業施設「クマSUNテラス」もオープン。飲食店5店、コンビニ、物販店。
- 同エリアには令和10年度に社会教育複合施設も供用開始予定。



町の現状 ～下野上地区②～



社会教育複合施設「ととと」(整備中)

公民館、図書館、博物館機能が融合した、人々が集い活動する場として整備。

- コンセプト 「大熊で学ぶ」「大熊の記憶をつなぐ」
- 2028年度以降開館予定
- 面積（敷地）約7,000㎡、（延床）約6,000㎡
- 主な機能 6の活動室（座学、耕作、調理、和室等）
11万冊の蔵書、常設展示室、企画展示室、
町民参加展示企画スペース、収蔵庫（約1,000㎡） など

宿泊施設(ホテル)整備事業

町は2026年5月、サンフロンティアホテルマネジメント（東京都）と「大野駅西町有地宿泊施設整備事業に関する基本協定」を締結。

協定に基づき、同社によるホテルを整備。

- 事業主体：サンフロンティアホテルマネジメント株式会社
（堀口智顕代表取締役会長）
- 地上7階建て、客室150（予定）

医療・福祉環境の整備

JR大野駅西口に双葉地域の医療の中核を担う県立病院が整備されます。

- 開院時期：2029年度以降
- 病床数：250床（開院当初は100床前後）
- 経営形態：福島県立医科大学の附属病院
- 2次救急医療機関として、24時間・365日の受入態勢を整備
- 災害拠点病院として、災害時にも業務継続を可能とする施設・設備・体制を構築

※画像は現時点のイメージであり、実際の設計とは異なる可能性があります



大熊町診療所(大川原地区)

- 診療日：火・木曜日午前
- 診療科目：内科
- 2021年4月開所
- 県立医科大付属病院・双葉医療センター付属病院より医師派遣



グループホーム おおくま もみの木苑 (大川原地区)

- 定員：18名（9名×2ユニット）
- 全個室（14.25㎡）
- 2020年4月開所
- 指定管理にて運営



町の復興状況 ～主な施策・施設～



大熊西工業団地(大川原地区) 大熊中央産業拠点(下野上地区)

新たな産業・雇用を生む企業誘致の拠点として整備。

- 大熊西工業団地 2023年6月～
地区面積約22ha、宅地面積約9ha
- 大熊中央産業拠点 2022年12月～
地区面積約12ha、宅地面積約9.3ha



公共交通

町内各地区を結ぶ公共交通施策を実施。

- 生活循環バス 2019年6月運行開始
小型電気バス等により、
①大野駅と大川原地区、
②富岡駅と大川原地区、
③大野駅と西大和久地区、野上地区を結ぶ3ルート
で無料運行
- デマンドタクシー 2024年8月運行開始
大熊町内と一部富岡町内を対象に無料運行